

## 季節に合わせた活動への取り組み

日中活動として、体力向上や心身の健康などを目的としたものがあります。その中で、私たちは四季を感じることを大切に、例えば暑い時期には水遊びする機会を取り入れました。健康のため、ウォーキングなどの身体を動かす運動を考えてしまいがちですが、時には、思いっきり外で水浴びしながら涼みつつ、夏を感じる時間を提供しました。日常の中に、ちょっとした変化とスパイスを織り交ぜながら、このような活動で季節を感じ、メリハリのある生活と楽しみ、そして満足感を得られるよう努めました。



## コロナ5類へ移行後の取り組み



コロナ禍において様々な制限があり、我慢をしなくてはならないことが多くありました。その中でも、様々な工夫やアイデアを持ち寄り、利用者の楽しみを大切にしてきました。そして5類へ移行し、社会は元の生活に戻りつつあります。暮らしの施設として、引き続き感染症に気を付けながら、コロナ前のように行事などを戻していきました。4年振りに新年会をホテルで行うことができ、利用者さんの笑顔は絶えませんでした。外出も2か月に1回ですが、グループで行けるようになり、今までのストレスから解放されたことと思います。

## 施設内研修一覧

- ・社会人(支援員)としての接遇とマナー
- ・てんかんについて
- ・食事姿勢について
- ・アンガーマネジメント
- ・コミュニケーション能力
- ・ダウン症について
- ・自閉症について
- ・強度行動障害について
- ・移動・移乗介助
- ・虐待防止研修



## SDGsの取り組み



地域の方々の協力のもと、指定箇所へアルミ缶を置いて頂き、アルミ缶を回収しています。そして、集めたアルミ缶は仕分けや潰しの作業工程に分け、リサイクル作業を行っています。利用者の皆さんと一緒に、夏も冬も一年を通して、暑さや寒さにも負けず、社会貢献のため切磋琢磨して頑張っています。この先も、利用者職員共にSDGsに取り組んでいきます。